



ALTIMA
PROTEIN SKIMMER

アルティマ DC プロテインスキマー

取扱説明書




この度は ZOOX アルティマ DC プロテインスキマーをご購入いただき、誠にありがとうございます。
本説明書は、300S、500S に対応しています。
ご使用に際し、この取扱い説明書をよくお読みいただき、使用方法と構造をよくご理解した上でご使用
ください。お読みになった後は、いつでもすぐに読むことができる場所に大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用頂き、ご使用される方や他の人々への危害や損害を
未然に防止するためのものです。

以下に、本書に使用している表示とその意味を説明します。誤った取り扱いをしたときに生じる危険と
その程度を、次のように区分しています。

注意事項の区分


 危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」を表します。
 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表します。
 注意	「人が損害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表します。


マークの意味


 禁止	 強制	 電源プラグを抜く
--	---	---


電源プラグ・電源コード・コンセントの取り扱い


警告

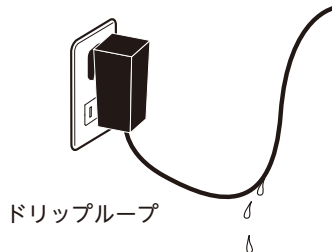
-  **電源は、交流 100V で、定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する**
交流 100V 以外での使用や、コンセントを他の器具と同時に使うと火災・感電の原因になります。
延長コードが必要な場合は正しい定格のコードを使用してください。器具の定格より低いアンペア数やワット数対応のコードを使用するとオーバーヒートにつながる危険があります。

-  **電源コードや電源アダプターを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない**
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

-  **濡れた手で電源の抜き差しをしない**
感電の原因になります。

-  **電源アダプターは、根元まで確実に差し込む**
感電や発熱による火災の原因となります。


-  **電源コードには必ずドリップループを設ける**
水滴がコードを伝ってコンセントに接触しないようにしてください。火災・感電の原因になります。





安全上のご注意 (つづき)

電源アダプター・電源コード・コンセントの取り扱い

警告


 水槽に手を入れる場合・メンテナンスを行う際は電源アダプターを抜く感電の原因になります。


 電源アダプターのほこりは、定期的に取り除くほこりなどがたまる、湿気などにより火災の原因となります。乾いた布で拭き取ってください。

 電源アダプターをコンセントから引き抜くときは、電源アダプターを持って引き抜くコードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因になります。


設置するとき


警告


 高温になる場所(火のそば、熱器具のそば、炎天下など)や、直射日光の当たる場所には設置しない
禁止
35℃以下の室内でのみ使用することができます。

 電源コード、アダプターに水のかかる場所へ設置をしない
禁止
感電・漏電することがあります。

注意


 本製品に衝撃を与えないよう、持ち運び・設置等の際の取扱いには十分注意する
衝撃を与えると、破損・故障の原因になります。


 お子様へ危険を及ぼす恐れのある場所には設置しない
禁止

 屋外での使用や、放置をしない
禁止
発熱・破裂などの原因になります。


使用するとき


警告

 異常時(こげ臭いなど)は、すぐに電源アダプターをコンセントから抜き、使用を中止する
発熱・火災の原因となります。購入された販売店もしくは弊社までご連絡ください。

 ポンプに水が循環できない状態かつポンプ内に水が満たされていない状態で動作させない
故障や火災の原因となります。

注意

 本製品を改造・加工等しない
破損やケガの原因となります。
禁止

 推奨される用途以外での使用はしない
思わぬ事故や危険を招く恐れがあります。
禁止

●ご使用の前に



- ・本製品は内部式プロテインスキマーです。
- ・ポンプの停止による、生体等の補償は行っておりません。予めご了承の上、ご使用ください。

ポンプは下記の注意事項を守ってご使用ください。

- ・水位の低下等でポンプが空運転しないように注意してください。
- ・本体に砂や異物が吸い込まれないようご注意ください。これにより深刻なダメージを受ける場合があります。また、この場合は保証の対象外となります。
- ・腐食性または研磨性のある液体でのご使用はお止めください。
- ・ポンプを持つ際は、コードを持ってポンプを持ち上げないでください。
- ・石灰藻やカルシウム成分、コケなどが付着しないように定期的に清掃を行ってください。
- ・アダプターをコントローラーに接続する際は、必ずアダプターがコンセントに接続されていない状態で行ってください。
- ・付属のアダプター以外を使用しないでください。

●仕様

Model	ポンプ最大消費電力 [※]	定格電圧 / 周波数	最大対応水量 (L/h)	空気流入量 (L/h)	流量 (L/h)	本体サイズ (cm)
300S	15W(±5%)	100-240V 50/60Hz	300L	100-400L	200-600L	W16×D21×H45.5
500S	25W(±5%)	100-240V 50/60Hz	500L	100-600L	200-1000L	W19×D24×H47.5

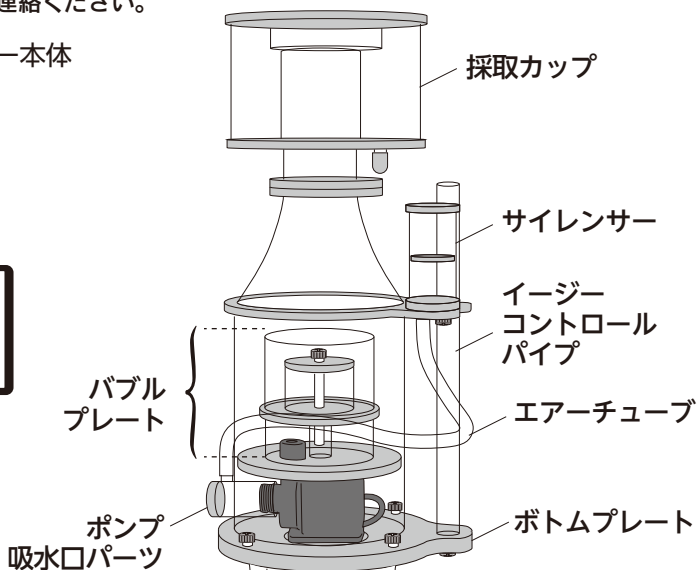
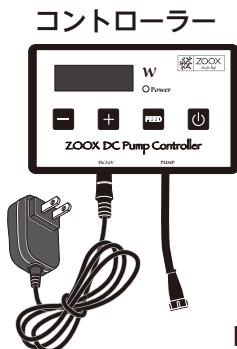
対応水温：最高 35℃

※コントローラーの消費電力は含まれていません。

●パッケージ内容の確認 / 各部名称

本体と全ての付属パーツを箱から取り出し、輸送中の損傷等が無いかご確認ください。特にコード部分に傷が付いていないことをご確認ください。万一、損傷等が見られた場合は、使用せずに販売店にご連絡ください。

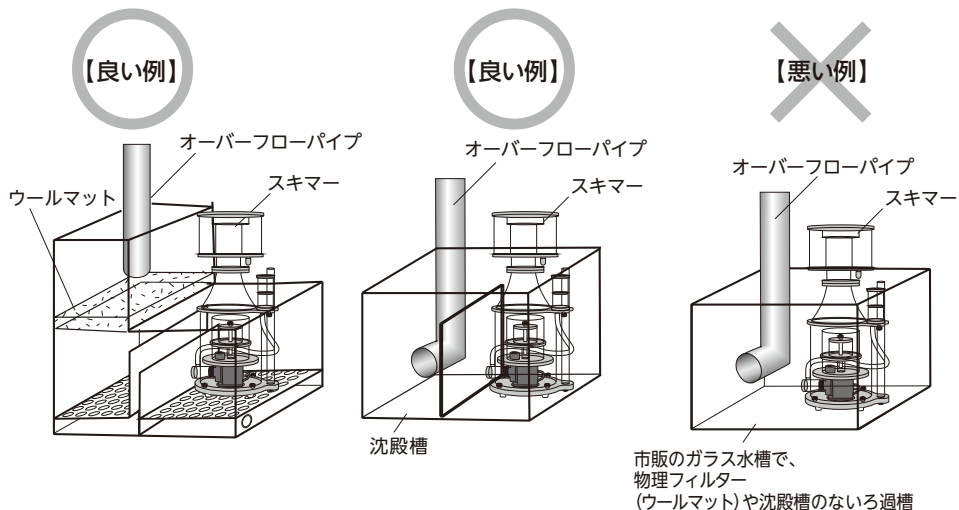
- プロテインスキマー本体
- コントローラー
- 取扱説明書
- 保証書



●ろ過槽について

プロテインスキマーを設置するサンプは、飼育水が物理フィルター（ウールマット等）を通過しゴミのない状態でプロテインスキマー内部を通るような構造のものをお使いください。大きなゴミ（ライブロックの破片・サンゴ砂等）が詰まりポンプの故障につながる場合があります。

また、ベルリンシステム（プロテインスキマーのみ）で飼育する方も、同様にウールにて物理処理を行うか、ろ過槽に沈殿槽を必ず設けてください。



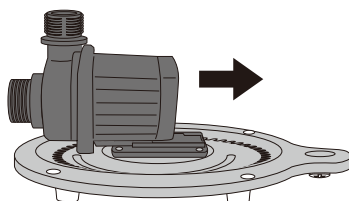
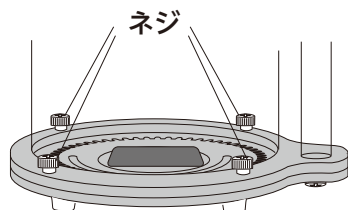
●設置方法について

はじめに

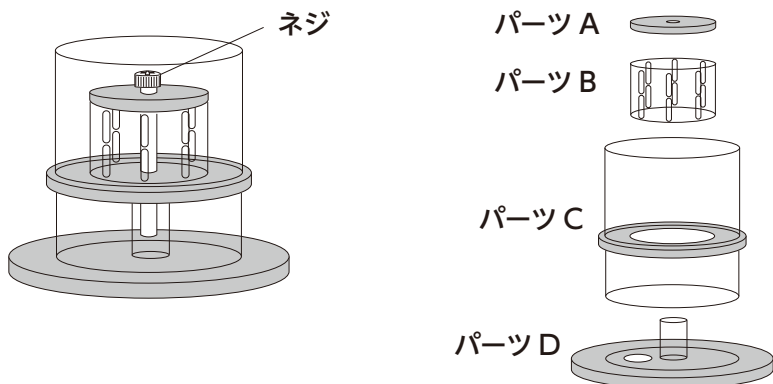
プロテインスキマー使用時には、粘膜保護剤やその他水の粘度があがる商品を使う事はできません。ご注意ください。

水位の低下等でポンプが空運転しないように厳重に注意してください。

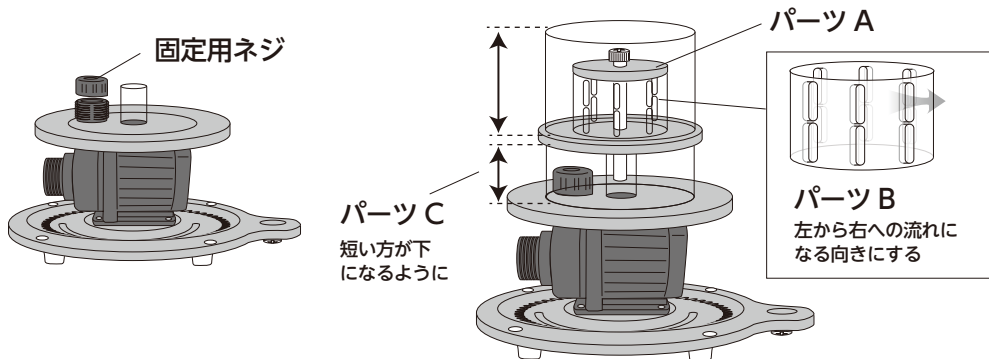
1. 底面の4つのネジをはずし、ボトムプレートをはずしてください。
2. ポンプマウントへポンプをスライドさせ、取り付けてください。



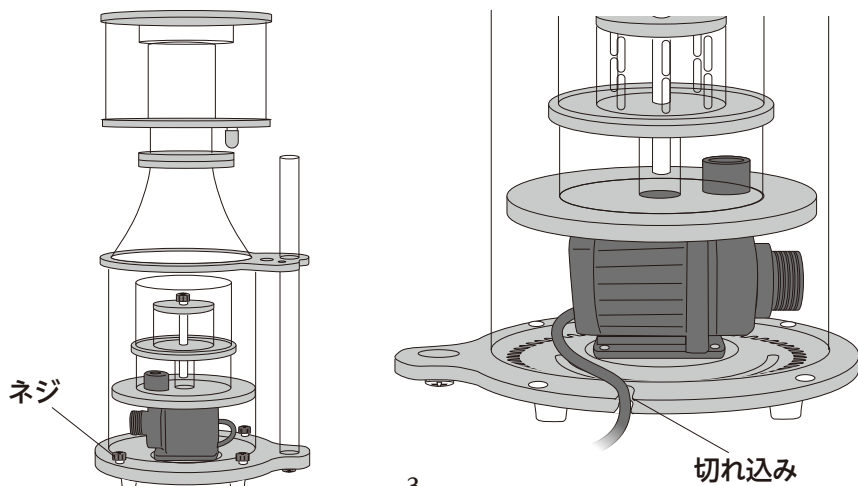
3. バブルプレートを中心のネジを外し、4つのパーツ(A,B,C,D)に分けてください。



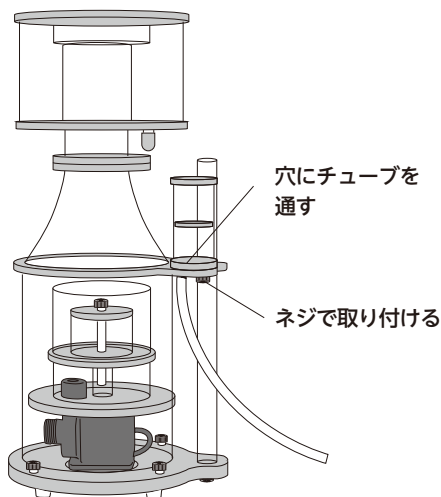
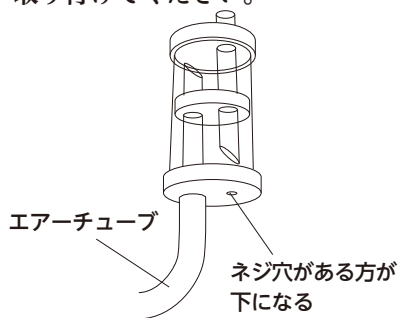
4. パーツ D をポンプの上のせ、固定用ネジで固定してください。
そして、パーツ C、B、A を重ね、ネジで固定してください。



5. 本体をボトムプレートに重ね、4つのネジで固定してください。
その際、ポンプのコードをボトムプレートの切れ込み口へ入れこんでください。



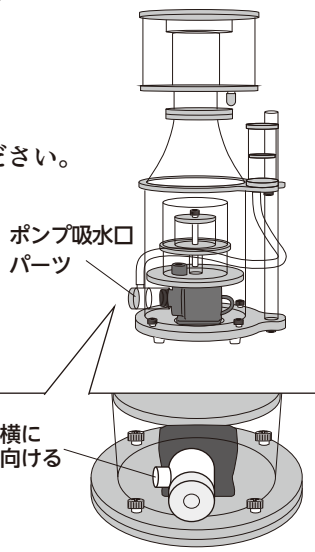
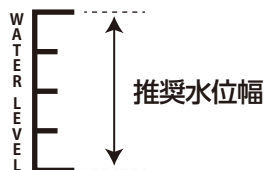
6. サイレンサー下部にエアチューブを取り付けてください。
 本体の穴にエアチューブを通し、サイレンサーを本体へネジを使って取り付けてください。



7. ポンプ吸水口パーツをポンプの吸水口に取り付け、エアチューブも取り付けてください。(右図)
 その際、ポンプ吸水口パーツを横に向けてエアチューブが折れ曲がらないように注意してください。

※吸水口パーツがはまりにくい場合は、ポンプマウントのネジを回し調節してください。

8. 2ページの「ろ過槽について」を参考に、ろ過槽内に本機を設置してください。
 推奨水位マークの範囲内に水位を合わせてご使用ください。



サンプル内の水位について

本製品は推奨水位幅を守ってご使用ください。
 推奨水位幅よりも水位が高い場合はオーバースキミングの原因となります。
 また、水位が低い場合は採取カップまで泡が上がらなくなります。

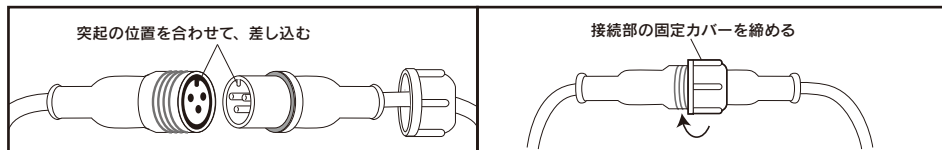
水漏れ防止のため、一度コレクションカップを外し、しっかりと押し込んだあと回転させてください。



9. 空運転しないようにポンプ内部に水を満たしてください。

●コントローラーの接続

1. ポンプとコントローラーのジョイント部分を下記の接続方法を参考にして繋いでください。



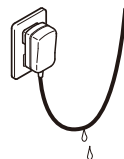
2. 本体が水中にあり、本体内部が水で満たされていることを確認してからプラグをコンセントに接続してください。

※ポンプが破損する恐れがありますので、空運転しないようご注意ください。



注意

コンセントとコントローラーの間に「ドリップループ」を必ず施してください。
「ドリップループ」とは、コンセントの位置よりも下にあるコードの部分のことで、水がコードを伝わってコンセント等に接触するのを防ぐためのものです。



●スキマー内の調整用法

スキマー内の水位と泡の量を調整するには、2つの方法があります。
併用して調整を行ってください。

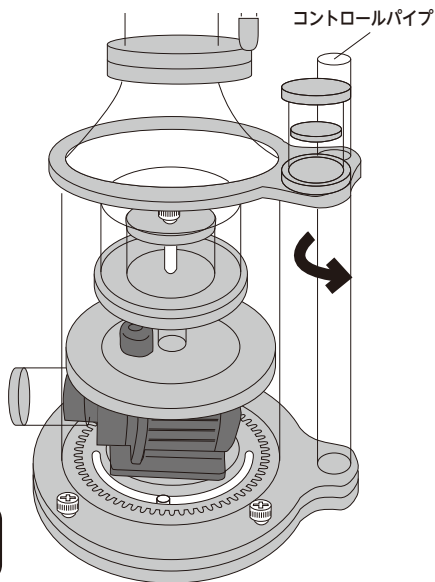
① コントロールパイプ

排水量を0～100%まで調整できる可変式バルブです。

(0%にすると空気排出口から水があふれますので実際には0%にはできません)

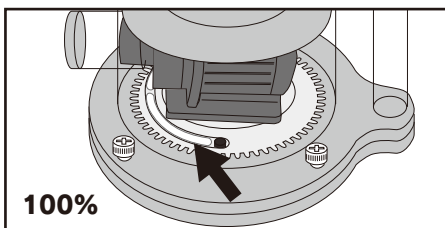
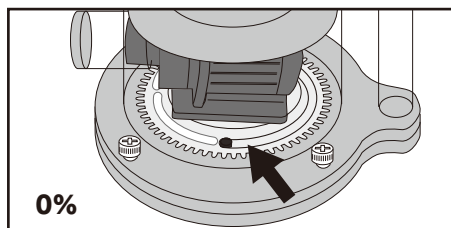
パイプを回してスキマーカップの水位が安定するようセットしてください。

時計回りに回すと排水量が多くなり、反時計回りに回すと水位を上昇させることができます。



注意

回しすぎると破損の原因となることがあります。



② 流量調整コントローラー

コントローラーを使いポンプの流量を 1～100 の 100 段階で調整することができます。

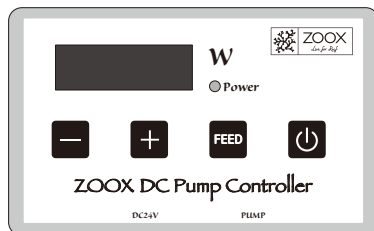
例) P15=15W

+ ボタン
ポンプパワーを強くし、流量を増やします。

- ボタン
ポンプパワーを弱くし、流量を減らします。

FEED ボタン
1 度押すと 3 分間ポンプが停止します。
長押しすると 10 分間ポンプが停止します。
※設定時間が経過した後、元のパワーで自動的に動き始めます。

電源 ボタン
電源の ON/OFF を行います。



蒸発などで設置場所の水位が下がると、スキマーの能力が低下するだけでなく、ポンプが空気を吸い込み、壊れる原因となりますので注意してください。



ポンプの運転効率が良い出力 60～70 パーセントでのご使用をお勧めします。100 パーセントでの常時運転はポンプの消耗を早めます。

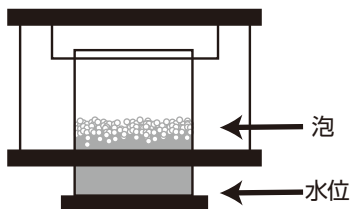


セット初期・水換え後、メンテナンス直後は泡が大量に発生する事がありますので定期的に確認してください。

調整の目安(汚れのとれ具合)

上記の方法で、カップ内に濃い茶～黒の粘性の高い汚濁物が溜まるように調節してください。

カップ内に薄い黄色～茶色の水が溜まっている場合は、泡の量や水位を下げて様子を見てください。



理想的な水位と泡のバランス

※セット初期や水換え後、添加剤を添加した後は図のような水位と泡のバランスが保てない場合がありますが、問題はありません。

●メンテナンスについて

- ・採取カップを週に一度は掃除してください。(汚濁物が3分の1以上たまった場合はその時点で)定期的に掃除をすることにより、より多くの汚濁物を除去することができます。その際に、洗剤等は使用せず柔らかい布等を使用し、ぬるま湯で掃除してください。
- ・週に一度はエアチューブ内の掃除を行ってください。
エアチューブがつまると、エア流入量が低下し、能力が大幅に低下します。
- ・月に一度はモーター内部、インペラー、給水口パーツにカルシウムが沈殿し固着していないか確認し、固着がみられる場合は布やブラシを用いて除去してください。ブラシ等が入らない部分に関しては、酢酸溶液(イージークリーン)などを用いてカルシウム分を溶解させてください。

●消耗部品について



下記のパーツは消耗品です。定期的な確認と交換を行ってください。
Oリング・インペラー・ポンプ・エアチューブ

●アルティマスキマーの保証について

- ・インペラー・モーター等の消耗品部分は、お客さまの使用方法により消耗の頻度が異なるために保障期間内であっても商品の交換はできませんのでご了承ください。
- ・本製品の使用等による万一の生体の死亡等の保証はお受けできません。

●よくある質問 Q& A

●採取カップに水が溢れてしまう。

ろ過層の水位とスキマーの適正水位が同じかを確認してください。
もし、使用している添加剤がある場合は、スキマーへの影響があるものでないかを確認してください。
水槽の立ち上げ期間、サンゴフード等の添加剤を添加した後はこのような症状になる場合があります。コントロールパイプを調節して水位を下げるか、ポンプコントローラーでポンプ流量を調節してください。
また、粘膜保護剤は使用できません。一度でも粘膜保護剤を添加すると数回の水換えが必要になります。

●泡がすぐにはじけて採取カップまであがってこない。

ろ過層の水位とスキマーの適正水位が同じかを確認してください。
また、水槽の立ち上げ期間、水換え後、添加剤を添加後はこの症状がみられることがあります。その際はしばらく様子を見てください。

●Oリング部分からの水漏れ、空気漏れがある。

各Oリング（ゴムパッキン）は様々な要因で劣化してしまいます。
定期的な確認と交換を行ってください。

●ポンプが動かない。

ポンプは消耗品です。使用に伴い、劣化してしまいます。定期的に交換してください。
また、水位低下による空回りはポンプに大きなダメージを与えます。十分に注意してください。

●ポンプは動いているが、泡が発生しない。

エアチューブからポンプ吸水口パーツにかけてほこりや塩分が詰まっていると空気を吸い込めず、泡が発生しません。定期的にこの箇所を清掃をしてください。

●スキマー内の気泡が大きすぎる。

水槽内の塩分濃度を確認してください。塩分濃度が低いとスキマーの効果を発揮できません。

●万が一トラブルの場合

トラブルやわからない事が発生した場合は、当社ホームページからお問い合わせ、もしくはお名前と症状をご記入いただき下記 E-mail へご連絡いただくか、ご購入のお店にお問い合わせください。

お問い合わせ E-mail : info@mmcplanning.com

輸入 / 発売元
株式会社 エムエムシー企画 レッドシー事業部

〒174-0063 東京都板橋区前野町 6-29-4
お問い合わせ : info@mmcplanning.com
<http://aqua.mmccorp.jp>